

# 第4期天草市倉岳地域まちづくり計画

～町民が生き生きしてると感じられるようなまちづくり～

天草市 倉岳地域

制 定 日	令和8年3月18日
改 正 日	

## 第4期天草市倉岳地域まちづくり計画 目次

1	計画のあらまし	1
1.1	計画策定の趣旨	1
1.2	計画の性格	1
1.3	計画の期間	1
2	倉岳地域の概要	2～5
2.1	位置・地勢	2
2.2	面積・土地利用	2
2.3	人口・世帯数	3～5
3	めざす姿	6～7
3.1	めざす姿をどのように実現に近づけるか	6
3.2	取り組みによって解決が期待される課題	7
4	計画の推進体制	8
4.1	実施	8
4.2	評価・改善	8
5	地域別計画	9～21
5.1	浦地区振興計画	9～12
5.2	棚底地区振興計画	13～16
5.3	宮田地区振興計画	17～21

## 1 計画のあらまし

### 1.1 計画策定の趣旨

平成18年3月27日、2市8町が合併して天草市が誕生しました。市内各地域には、素晴らしい自然や独自の文化や歴史、豊かな農林水産資源、さらには、日々の生活で育まれた相互扶助の精神など、全国に誇れる地域資源が数多くあります。

しかしながら、今日、本市においては、人口減少や過疎地域の増加、少子高齢化や地域の担い手不足などにより、継続した地域活動やコミュニティの維持が懸念されています。そのような中、地域における人々のつながりや、共助による活動の推進、また、一人ひとりが地域に対する愛着や誇りを持つことが、持続可能なコミュニティの形成につながります。

まちづくりに関する施策を効果的・効率的に推進するためには、地域住民と行政が一体となって、体系的・計画的に取り組む必要があるため、本地域のまちづくりの指針となる「天草市倉岳地域まちづくり計画」を策定し、「未来へ続く魅力ある地域づくり」を推進し、その実現を目指すものです。

今回、第3期天草市倉岳地域まちづくり計画を検証し、地域の課題等を再確認するとともに内容の見直しを行いました。

### 1.2 計画の性格

本計画は、次のような性格を持っています。

- ① 長期的・総合的な視点から、本地域が目指す今後のまちづくりの基本的な方向を示しています。
- ② 本市が策定する「第3次天草市総合計画基本計画」と方向性を共有しながら、地域が主体となって策定する計画として策定します。
- ③ 本地域の地域住民や行政機関のみならず、まちづくり関係団体、企業、学校など、地域全体でまちづくりに取り組む方向性を示しています。

### 1.3 計画の期間

本計画の期間は、令和8年度から令和11年度までの4年間です。

また、実現すべき施策目標を設定するとともに、その施策目標を達成するために必要な計画を示したものです。

## 2 倉岳地域の概要

### 2.1 位置・地勢

本地域は、天草上島の東南部にあり、天草市本庁舎より約 20 km、熊本市から陸路で約 90 kmに位置し、東南部は波静かな不知火海（八代海）、北東部は天草最高峰の倉岳（682m）、第2峰の矢筈岳（626m）、及び念珠岳・龍ヶ岳山系からなる観海アルプスに面し、平野部が少なく、海岸部のわずかな傾斜地に集落と農地が展開しています。

海洋性季節風の影響により年間降雨量も 2,000 mm を超え、比較的温暖な気候を持つ地域であり、台風や梅雨期の大雨により度々甚大な被害を被ってきた地域でもあります。

変化にとんだ海岸線や、360 度のパノラマが眺望できる「倉岳」などは『雲仙天草国立公園』として指定されています。近年、棚底地区に散在する石垣群や SNS 等で倉岳山頂神社が注目を集め、国指定史跡である「棚底城跡」を初め、散策や山歩きに訪れる来町者が多くいます。

図2 倉岳地域位置図



### 2.2 面積・土地利用

本地域の総面積は 25.65 km<sup>2</sup>で、市面積の約 4%を占めています。

土地利用については、林野が大変を占め、農用地や宅地としての利用は 20%程度となっています。

表1 倉岳地域土地面積（2018（平成30）年10月1日現在）

	倉岳地域	天草市
面積（km <sup>2</sup> ）	25.65	683.87
割合（％）	4.0	100

（国土地理院九州地方測量部）

## 2.3 人口・世帯数

表2 倉岳地域の人口、世帯数の推移

区分	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
人口（人）	3,493	3,085	2,812	2,533
世帯数（世帯）	1,247	1,162	1,111	1,065
世帯当たり人員（人）	2.80	2.65	2.53	2.38

（国勢調査）

図3 倉岳地域の人口、世帯数の推移

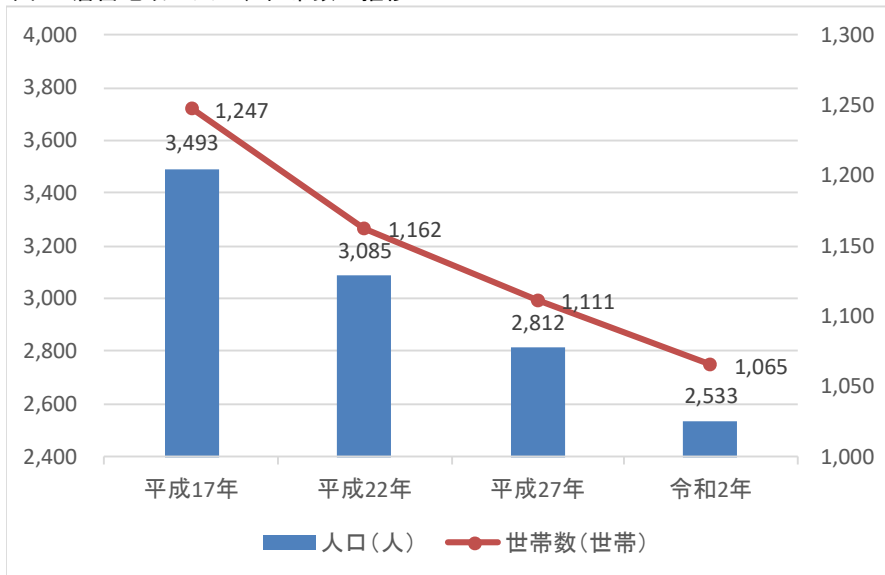


表3 倉岳地域の総人口、年齢階層別人口の推移

区分	平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	人口（人）	比率（％）	人口（人）	比率（％）	人口（人）	比率（％）	人口（人）	比率（％）
総人口	3,493	100.0	3,085	100.0	2,812	100.0	2,533	100.0
0～14歳	407	11.7	350	11.3	280	10.0	215	8.5
15～64歳	1,827	52.3	1,528	49.5	1,300	46.2	1,058	41.8
65歳以上	1,259	36.0	1,207	39.1	1,232	43.8	1,260	49.7

（国勢調査）

※総人口には年齢不詳者を含むため、年齢階層別人口の合計とは一致しません。

図4 倉岳地域の総人口、年齢階層別人口の推移

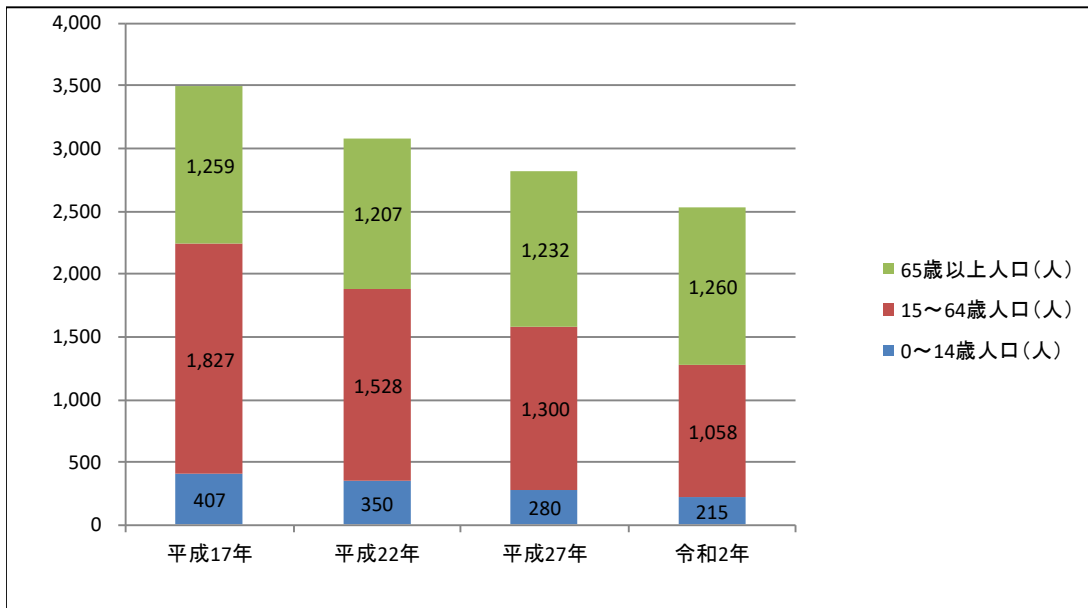


表4 倉岳地域の産業別就業者数の推移

区分	平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
就業人口総数	1,543	100.0	1,318	100.0	1,287	100.0	1,107	100.0
第1次産業	391	25.3	317	24.1	298	23.2	214	19.3
第2次産業	399	25.9	288	21.9	309	24.0	274	24.8
第3次産業	753	48.8	712	54.0	679	52.8	615	55.6

(国勢調査)

※就業人口総数には産業分類不能者を含むため、産業別就業者数の合計とは一致しません。

図5 倉岳地域の産業別就業者数の推移

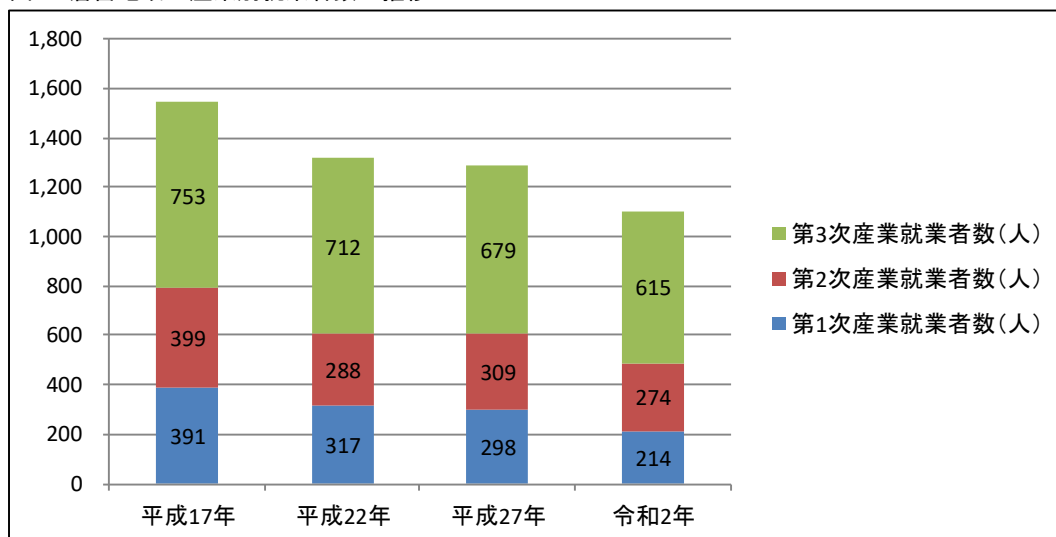


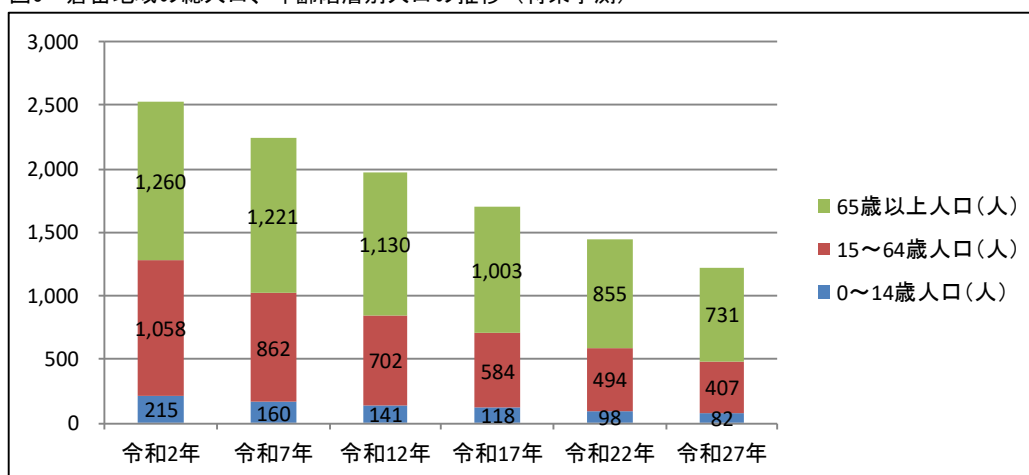
表5 倉岳地域の総人口、年齢階層別人口の推移（将来予測）

区分	令和2年		令和7年		令和12年	
	人口（人）	比率（％）	人口（人）	比率（％）	人口（人）	比率（％）
総人口	2,533	100.0	2,243	100.0	1,973	100.0
0～14歳	215	8.5	160	7.1	141	7.1
15～64歳	1,058	41.8	862	38.4	702	35.6
65歳以上	1,260	49.7	1,221	54.4	1,130	57.3
区分	令和17年		令和22年		令和27年	
	人口（人）	比率（％）	人口（人）	比率（％）	人口（人）	比率（％）
総人口	1,705	100.0	1,447	100.0	1,220	100.0
0～14歳	118	6.9	98	6.8	82	6.7
15～64歳	584	34.3	494	34.1	407	33.4
65歳以上	1,003	58.8	855	59.1	731	59.9

（令和2年：国勢調査、令和7～令和27年：市政策企画課）

※平成22年から平成27年の国勢調査の人口推移を基に、コーホート変化率法を用いて平成32年から平成52年までの将来予測人口を算出。

図6 倉岳地域の総人口、年齢階層別人口の推移（将来予測）



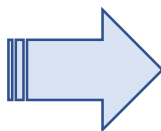
### 3 めざす姿

倉岳まちづくり協議会は、平成17年に発足21周年を迎えるにあたり、倉岳地域の活性化を図り、町民が生き生きして感じられるようなまちづくりを行います！

#### 3.1 めざす姿をどうやって実現に近づけるのか？

① 倉岳地域の活性化

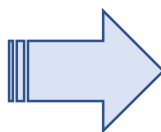
- まち全体でおもてなし。
- 天草戦国ミュージアムの利活用。
- 地域の情報発信。



天草戦国ミュージアムの利活用定着

② 地区振興会の負担軽減

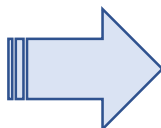
- 事務局会議の開催。
- 行事調整。
- 稼げる振興会。



共通行事のまち協開催

③ 賑わいの創出

- ふるさとまつりの開催。
- えびすマラソンの開催。
- 町内各学校との連携。



各学校の存続

### 3.2 (3.1) の取り組みによって解決が期待される課題

- ①の取り組みによって、課題である交流人口の増加が解決される。

理由：交流人口の増加に伴って、地域に潤いをもたらされる。

---

- ②の取り組みによって、課題である振興会の負担が解決される。

理由：共通行事をまち協で開催したり、稼ぐことで、振興会の運営が行いやすくなる。

---

- ③の取り組みによって、倉岳地域の小規模学校の存続が図られる。

理由：各学校との連携を図ることで、児童・生徒数が減少している倉岳地域の学校の活性化及び存続が図られる。

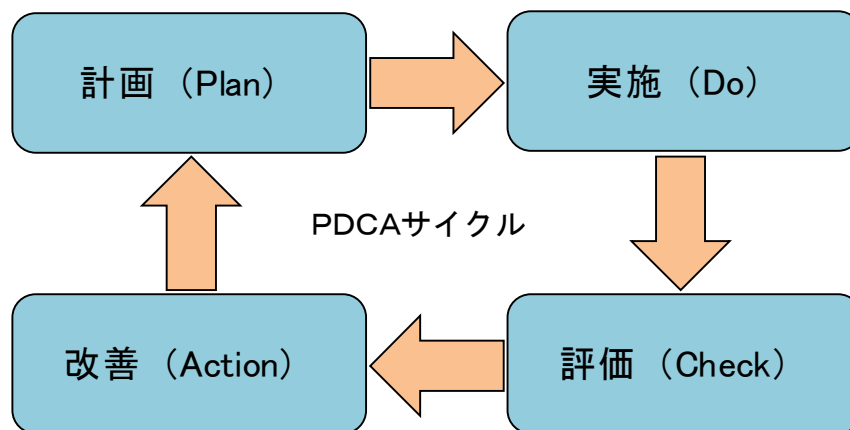
---

#### 4 計画の推進体制

本計画の推進体制については、倉岳まちづくり協議会を中心に関係団体及び行政と連携し推進するとともに、進捗状況及び目標の達成度等を年度毎に把握・評価を行い、地域情勢及び社会情勢の変化等も勘案し、必要に応じて計画の内容の見直しを行います。

その手法として、計画（Plan）、実施（Do）、評価（Check）、改善（Action）を繰り返すPDCAサイクルを用いて、継続的に計画を改善していきます。

図8 天草市本渡地域まちづくり計画の評価・見直し(PDCAサイクル)




#### 5.1 実施

本計画に基づく施策の実施にあたっては、各実施主体を中心に倉岳まちづくり協議会、関係団体及び行政と連携し実施します。また、必要に応じて実行委員会を設置し施策の推進を図ります。

#### 5.2 評価・改善

本計画に基づく施策の実施状況等については、毎年度 1 回以上倉岳まちづくり協議会で評価を行うとともに、社会環境・地域環境の変化等も勘案し、必要に応じて計画の内容を見直します。

地区の概要(R2国勢調査参考)			
面積(km <sup>2</sup> )	12.2		
人口(人)	総人口		641
	15歳未満		54
	15～64歳		277
	65歳以上		310
高齢化率(%)	48.40%		
就業人口(人)	第1次産業		77
	第2次産業		95
	第3次産業		132
世帯数(世帯)	総世帯数	272世帯	
	高齢単身者	59世帯	
行政区数(区)	6区	(満開の桜と浦地区コミュニティセンター)	
学校	無		
文化財・史跡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名桐石棺墓群(古墳時代) ⇒県遺跡地図では七曲遺跡と登録</li> <li>・倉岳神社、倉岳大明神 ⇒文化2年と大正4年の1基がある</li> <li>・浦城跡(中世の山城)</li> <li>・浦新田(寛永年間から1804年完成)</li> </ul>		
その他地域資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒモヅル ⇒昭和34年熊本県トップを切って天然記念物に指定</li> <li>・荒平棚田・城下棚田</li> <li>・浦伊邪那岐神社大王宮・阿蘇宮・住吉宮・金毘羅宮</li> <li>・船線刻画</li> </ul>		
地域伝統芸能	浦地区コミュニティ事業秋祭り ⇒子ども神輿・太鼓舞・鳥毛・獅子舞		
地域づくり団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浦地区コミュニティ事業秋祭り保存会</li> <li>・浦地区夏祭り実行委員会・倉岳山頂神社奉賛会</li> </ul>		
<b>地区のいいところ・自慢できること</b>			
人柄が良い、人情がある／地域のまとまりがある／自然が豊かである／伝統行事を大切にしている／犯罪が少ない／純朴で働き者が多い／WANIMAを生んだ地区／ゲートボール・グラウンドゴルフが盛ん			
<b>地区が抱える課題・困っていること</b>			
災害時の避難経路が心配／高齢者の一人暮らしの見守りや高齢者世帯の健康維持が心配／若者の働く場所が少ない／子どもが安全に遊ぶ場所が少ない／交通の便が悪い／耕作放棄地が目立っている／病院が無いため通院に時間がかかる			

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	<b>世代を超えた人と自然が支え合う優しいまちづくり</b>
考え方	◎浦の自然は地域の宝、豊かな自然を守り安心して暮らし続けられる地域を創ります(自治環境) ◎浦の人たちが気軽に参加できる楽しい催しを行い人の絆を大事にします(地域づくり) ◎浦の人たちの世代を超えた繋がりを大事にしお年寄りと子供達の和を育みます(地域交流)

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化等により耕作放棄地が急激に増加している。</li> <li>・有害鳥獣(特にイノシシ)の被害が増大している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○活力と豊かさのあるまちづくり</li> <li>・耕作放棄地の解消や有害鳥獣対策等の情報提供に努める。</li> <li>・地域で農地を守っていく方法について検討、調整をおこなっていく。</li> </ul>
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の史跡や名所に関する歴史や由来を記載した民話集や民話紙芝居を作成している。</li> <li>・史跡を活用したイベントを開催している。</li> <li>・イベント内容がマンネリ化してきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域資源を活かすまちづくり</li> <li>・史跡や名所を巡るコースの整備等をおこなう。</li> <li>・ウォーキングコースの設定し安全に運動できるよう検討する。</li> <li>・民話集や紙芝居の活用と他地区との連携・協力を検討する。</li> </ul>
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ面、文化面など様々なイベントを開催している。</li> <li>・地域活動における地区振興会の役割が年々増大し、各役職員の負担が大きくなってきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○みんなが参加するまちづくり</li> <li>・多くの方が気軽に参加できる事業を実施する。</li> <li>・地域内の各団体と協力しながら実施する。</li> <li>・行事内容の見直し等の検討をおこなう。</li> </ul>
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後、夏休みおよび冬休みにコミセンを利用して子どもの見守りをおこなっている。</li> <li>・少子化により参加者が減少している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域が未来の大人を育むまちづくり</li> <li>・地域で子どもたちの成長を見守る環境づくりに努める。</li> <li>・子どもたちが気軽に施設を利用できるよう配慮する。</li> </ul>
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の長寿を祝うため、敬老会を実施している。</li> <li>・一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯に対する地域での見守りが必要となっている。</li> <li>・子どもから高齢者まで安全で安心して集える施設整備が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域で見守るまちづくり</li> <li>・長寿をお祝いするため敬老会の内容充実を図る。</li> <li>・一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯に対する地区内での見守りを関係機関と協力して実施していく。</li> <li>・安全で安心して集える施設等の整備、確保等に努める。また世代間交流も実施する</li> </ul>
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み前(1回)、冬休み前(1回)の防犯パトロールをおこなっている。</li> <li>・環境美化作業を実施している。</li> <li>・二次避難所の指定場所が変更になったため、避難経路等の見直しが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安心安全で快適なまちづくり</li> <li>・きれいで安全な地域を目指し、清掃活動等を実施する。</li> <li>・非常時に備え備蓄品の整備や防災訓練や地区防災計画の策定をおこなう。</li> <li>・一次避難所開設を引き続き実施していく。</li> </ul>
【G】 都市基盤整備	—	—
【H】 総務・企画		

# 浦地区振興計画 行動計画

## ①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期		
				R8	R9	R10	R11			
B	浦地区史跡ウォーク	地域内の史跡や名所を活用したウォークを開催する。また、ガイドの養成やコースの整備等についても検討していきたい。	90人以上の参加						振興会	地域づくり部会
B	地区振興会だより発行	全戸に配布して地区振興会や地域の話題の情報を提供する。	年6回の発行						振興会	役員会
C	ぞろりんピック(スポーツ大会)	地区住民の親睦と融和、健康増進のため、気軽に参加できるスポーツ大会を実施する。また、日常の健康増進のためコース設定などを検討していきたい。	ゲートホール、グラウンド、ゴルフ、ウォーキングの3種目に200人以上の参加						振興会	地域づくり部会
C	ステージ発表会	文化サークル等の演芸披露・文化作品展など芸術文化に触れる機会をつくることを目的に実施する。また、実施方法実施場所など実情に合わせ検討していきたい。	200人以上の来場者						振興会	地域づくり部会
C	浦地区夏祭り	お盆の帰省客の方々や地区住民との交流を深めるために開催されており、実行委員会に支援・協力をおこなっていく。	200人以上の来場者						実行委員会	協力
C	浦地区コミュニティ事業秋祭り	子ども神輿、太鼓舞、鳥毛、獅子舞などを地区全体で開催されており、保存会に支援・協力をおこなっていく。	100人以上の参加者						保存会	協力
E	浦地区敬老会	70歳以上の高齢者を対象に長寿のお祝いや感謝をする機会として開催し、金婚夫婦表彰、式典、演芸などを実施する。また、世代交流を図るため開催方法など検討していきたい。	100人以上の参加						振興会	地域交流部会
E	ふれあいいきいきサロン	高齢者の健康増進などの様々な活動をするための会場提供など協力と支援をおこなっていく。	のべ100人以上の利用						社協	協力
F	防犯パトロール	長期休業の最終日に防犯意識高揚のため浦地区内を巡回する。	夏休み1回、冬休み1回の実施						振興会	地域交流部会
F	環境美化作業	市道や河川の清掃、各地区で管理している花壇の手入れなどを実施する。高齢者が増加しているため、行政と協働するなど今後内容等の検討をしていきたい。	年4回の実施						振興会	自治環境部会
C	3地区連携強化事業	倉岳町の3地区でおこなわれている類似事業について、合同で実施することで、3地区の連携強化や、各振興会の予算や役員の負担軽減を目指す。	年度中に検討・調整、年度以降に段階的に実施						役員会	地域づくり部会
F	防災対策事業	各自主防災組織の防災体制の向上を図るため、一次避難所開設運営委託や活動に対して必要な支援や協力をおこなう。地区防災計画策定の協議をおこなう。	年1回以上の防災訓練などを実施 一次避難所開設						役員会	自治環境部会

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。



地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km <sup>2</sup> )	8.4km <sup>2</sup>	
人口(人)	総人口	995
	15歳未満	87
	15～64歳	415
	65歳以上	493
高齢化率(%)	49.5	
就業人口(人)	第1次産業	64
	第2次産業	103
	第3次産業	266
世帯数(世帯)	総世帯数	422
	高齢単身者	97
行政区数(区)	5	
学校	倉岳小学校、倉岳中学校、天草高等学校倉岳校	
文化財・史跡	棚底城跡(国指定史跡)、天草戦国ミュージアム、宮崎石棺墓群(市指定)、大権寺古塔群、江岸寺、棚底諏訪神社、倉岳神社、医師観音、六部塔、目玉観音、鳴川観音、八十八ヶ所、阿弥陀堂(別名いぼの神様)、延命地藏観音寺	
その他地域資源	石垣群、こぐり、倉岳(天草最高峰)、アイラトビカズラ、鳴川小溪谷、めいどサロンたなそこ、倉岳六峰アルペンルート、パラグライダー離陸場、日本一の無毒とらふぐモニュメント、倉谷溜池跡	
地域伝統芸能	諏訪神社秋祭(子ども神楽、獅子舞、太鼓踊り、神幸行列)、倉岳えびす太鼓	
地域づくり団体	倉岳トレイルクラブ、こっば劇団、棚底獅子舞保存会、神楽舞保存会、倉岳山頂神社奉賛会	
<b>地区のいいところ・自慢できるところ</b>		
<p>人柄がいい/人情がある/自然が豊かである/歴史が古い/幼・保・小・中・高の教育施設が充実した学園地域/伝統行事を大切にしている/犯罪の少ない町/地域のつながりがある/来訪者にとっても魅力ある地域資源が多い/日当たりが良い/集落景観が素晴らしい/せどやが珍しい/天草戦国ミュージアム</p>		
<b>地区が抱える課題・困っていること</b>		
<p>働き手(若者)の流出/少子高齢化/地域の担い手不足/災害時の避難経路が心配/高齢者の一人暮らしの見守りや高齢者世帯の健康維持が心配/耕作放棄地の増加/有害鳥獣被害(イノシシ)の増加/病院がない/店舗が少ない/飲食店がない/公共交通機関の便利が悪い/タクシー会社がない/観光客が来訪してもお金を使うところがない/観光客の遊ぶ場所がない/倉岳山頂への道が狭い/砂防ダムの管理など水害対策ができていない</p>		



(倉岳パラ基地からの棚底地区の全景)

◆◆◆ まちづくりの目標 ◆◆◆

テーマ	自然と歴史と文化の里棚底―地域資源を活用したまちづくり―
考え方	豊かな自然と歴史、文化の地域資源を活用しながら、住民が幸福感を持って暮らせるまち「棚底」を創造します。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耕作放棄地が増えている。</li> <li>・働く場所(雇用)が減っている。</li> <li>・後継者不足が進んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人材を活用し体力あるまちづくり</li> <li>・地域の人材を活かし魅力と活力を生み出し持続可能な地域づくりを目指す。</li> </ul>
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・棚底史跡めぐり、倉岳ウォークを開催し、町内外から多くの人に参加している。</li> <li>・倉岳山頂神社に県内外からの参拝客が多く観光客が増加している。</li> <li>・天草戦国ミュージアムと御所浦恐竜の島博物館が連携することで、観光客の増加が期待でき、東海岸地域の活性化を図ることができる。</li> <li>・文化資源のさらなる有効活用が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域資源を活かした交流のまちづくり</li> <li>・ボランティアガイドの養成・および活用体制の構築を行う。</li> <li>・天草戦国ミュージアムと御所浦地区をはじめ東海岸地域との連携を強化し交流人口増加を目指す。</li> <li>・棚底城跡や石垣といった観光・文化資源のさらなる活用を検討、実施する。</li> </ul>
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ大会をはじめ多くの振興会行事を開催しているが、参加者数は減少傾向にある。</li> <li>・少子高齢化が進み、振興会行事だけでなく秋祭りや十五夜綱引きなど地域の伝統行事の担い手が減っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○みんなが参加するまちづくり</li> <li>・事業内容、実施方法の検討を行い誰もが参加できる事業を行う。</li> <li>・振興会、地域内の各団体との連携を強化し、負担の軽減や分散を行うと共に、担い手の育成を行う。</li> </ul>
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急速に進む少子化と人口減少により児童、生徒の数が急減している。</li> <li>・大人の図書室利用者や公民館講座の参加者が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域みんなで育む教育のまちづくり</li> <li>・地域と学校、保護者が連携、協力しながら、子どもたちの成長を見守る環境づくりを行う。</li> <li>・図書室の利用促進に関する事業や倉岳地区公民館との連携を図り、住民のニーズに応じた学びの場の提供を行う。</li> </ul>
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加している。</li> <li>・子ども、特に高齢者の地域での見守りが必要である。</li> <li>・高齢者と子どもの交流事業である世代間交流事業を実施しているが、参加者(特に子ども)が減っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○住み慣れた地域で安心して元気に暮らせるまちづくり</li> <li>・見守り体制の強化につながる事業を実施する。</li> <li>・地域内のつながりや健康増進に寄与する事業を実施する。</li> </ul>
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に2回の防犯パトロールを実施している。</li> <li>・環境美化作業を実施している。</li> <li>・災害時の避難に不安がある。</li> <li>・ゴミのポイ捨てや違反ごみが見受けられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安心安全で快適なまちづくり</li> <li>・きれいで安全な町を目指し、清掃活動や見回り活動を実施する。</li> <li>・非常時に円滑に避難できるように準備や訓練を行う、また、積極的に避難所運営に携わる。</li> </ul>

# 棚底地区振興計画 行動計画

## ①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考	
				短期				長期			
				R8	R9	R10	R11				5年以上
B	天草最高峰倉岳ウォーク	天草最高峰である倉岳山頂までの登山を開催する。町内外から多くの参加があるよう、参加者の体力・脚力等に応じたコース設定や山頂での抽選会などを実施する。	参加者数200人以上							振興会	自治環境部会
B	棚底城跡管理業務	棚底城跡の草刈作業を実施する。全体実施は年3回、有志による実施を3回以上実施し、あわせて見回り作業も月1回実施する。	のべ参加者数 120人以上							振興会	地域づくり部会
B	棚底史跡めぐり&ウォーキング	石垣、こぐりをはじめとする地区内の史跡をめぐるウォーキングを開催する。コース分けを工夫するなど参加者の満足度向上とスタッフ負担の軽減を図りながら開催する。	参加者数150人以上							振興会	地域づくり部会
B	観光・文化資源を活かしたまちづくり事業	棚底城跡、石垣など地区の豊かな観光・文化資源を活用し、さらなる交流人口の増加にむけ、ボランティアガイドの受注を増やすため戦国ミュージアムとの連携強化を図る。	観光客のツアーガイドを年5組以上							振興会	役員会
C	棚底地区スポーツ大会	地区住民の親睦と融和、健康増進を目的にスポーツ大会を実施する。グラウンドゴルフやウォーキングなど誰もが参加しやすい種目。3地区振興会で連携強化を図る。	参加者数150人以上							振興会	体育部会
C	3地区連携強化事業	倉岳町の3地区で行われている類似事業について合同で実施することで、3地区の連携強化や各振興会の予算・役員負担の軽減を目指す。	R8年度中も検討・調整を継続し、段階的に実施							3地区振興会	役員会
E	世代間交流事業	高齢者と子どもたちの交流を目的にニュースポーツなど簡単なゲームを実施する。	参加者数50人以上(子ども、高齢者、保護者)							振興会	健康福祉部会
E	棚底地区敬老会	地区住民の長寿のお祝いと高齢者への感謝を表す機会として開催し、金婚表彰や昼食の提供、演芸を行う。事業の負担軽減に向けて3地区振興会で連携強化を図る。	70歳以上の高齢者を対象に150人以上の参加							振興会	健康福祉部会
F	環境美化作業	地区の環境美化や住民の美化意識の高揚のため、地区全体のクリーン作成や棚底川沿い周辺の清掃作業、国道沿いの花壇やボランティア花壇の管理を行う。	クリーン作戦(年1回)、棚底川沿い草刈・花壇管理(年3回)							振興会	自治環境部会
F	防犯パトロール	安全・安心な地域づくりや青少年の健全育成を目的に、学校、保護者と協力し地区内の巡回パトロールを行う。	年2回(夏・冬)実施							振興会	地域づくり部会
F	地区防災訓練	自主防災組織を中心とし、一斉避難訓練や要支援者の支援体制の構築、防災講話や炊き出し訓練を行い、地区の防災力向上を行う。	年1回以上の防災訓練等を実施							振興会	役員会
H	振興会だよりに発行	振興会の活動を多くの住民に周知するため、振興会だよりを発行する。	毎月1回発行							振興会	役員会

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。



地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km <sup>2</sup> )		5.2km <sup>2</sup>
人口(人)	総人口	897人
	15歳未満	74人
	15～64歳	366人
	65歳以上	457人
高齢化率(%)		50.9%
就業人口(人)	第1次産業	73人
	第2次産業	76人
	第3次産業	217人
世帯数(世帯)	総世帯数	366世帯
	高齢単身者	85世帯
行政区数(区)		5区
学校		
文化財・史跡	境目古墳、宮田城跡	
その他地域資源	十五社宮、八幡宮、天満宮、金比羅宮、鈴木様、御大師様(八十八ヶ所)、水上大明神、馬頭観音、粟島様、山神様、稲荷様、若宮様、観音様、秋月様、毘沙門天、権現様、祇園様、薬師様、恵比寿様 倉岳大えびす像、えびすビーチ、鯛釣り遊漁船、宮田漁港、五月雨の滝、てしこの堤	
地域伝統芸能	獅子舞、秋の例大祭、棒踊り、御大師様奉納踊り	
地域づくり団体	宮田獅子舞保存会、宮田棒踊り保存会、境目草刈り隊	
<b>地区のいいところ・自慢できるところ</b>		
温かい人情がある／地域のまとまりがある／美しい自然がある／伝統行事を大切にしている／観光資源(倉岳大えびす像、えびすビーチ、タイ釣りなど)がある／犯罪の少ない町／生涯スポーツ(ゲートボール、グラウンドゴルフ、百歳体操)が盛んである		
<b>地区が抱える課題・困っていること</b>		
少子高齢化が進んでいる／高齢者の一人暮らしの見守りや高齢者世帯の健康維持が心配／交通の便が悪く、高齢者等の移動手段が限られている／農業、漁業の担い手が少ない／若者の働く場所が少ない／耕作放棄地が増えている／放置船舶が増えている／ゴミのポイ捨てが多く見られる／ゴミ出しルールが守られていない／ビニール系を焼却している／お悔み放送の終了／空き家が増えている／秋の例大祭ができない／宮田の歴史(昔話)を語り継ぐ人が少ない／宮田の歴史(昔話)本が少ない		



(宮田お雛さま)

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	<b>美しい自然と人情で織りなすえびす顔のまちづくり</b>
考え方	地域の財産である「美しい自然」「温かい人情」「良き伝統文化」を次世代に引き継ぎながら、住民皆が安心して“えびす顔”で暮らせるまちづくりに取り組みます。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業、漁業の担い手・後継者が減少している。</li> <li>・耕作放棄地が目立ってきている。</li> <li>・有害鳥獣による農産物被害が増大している。</li> <li>・若者の働く場が減少している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域資源を活用した、豊かさのあるまちづくり</li> <li>・拠点施設を整備・活用し、地域資源の特徴を活かした収益事業を実施する。</li> <li>・耕作放棄地解消や有害鳥獣対策のため、地域で実施できる取り組みを検討する。</li> </ul>
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・倉岳大えびす像公園、えびすビーチ等の施設、えびすマラソン大会等のイベントには、地域外から多くの人々が訪れている。</li> <li>・ペアマラソン大会には、県外含め500名を超える参加がある。</li> <li>・宮田の歴史を次世代に伝える書籍が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の魅力を活かした、交流のまちづくり</li> <li>・地域の観光施設やイベントの来訪者に、地域の魅力を発信する事業を展開する。</li> <li>・地域の史跡や名所と観光資源を巡るコースの整備等を行う。</li> <li>・宮田の歴史を次世代に伝える書籍を新たに発行し、知的財産として地域と共有する。</li> </ul>
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の伝統行事の担い手や指導者の確保が課題となっている。</li> <li>・子どもから高齢者まで皆が楽しめる事業（世代間交流、鯉のぼり、端午の節句会・お雛さま会、球技大会など）を実施している。</li> <li>・お雛さま会には、延べ500名以上の来訪がある。</li> <li>・少子高齢化により事業への参加者が減少している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○皆が参加し、皆が主役のまちづくり</li> <li>・子どもから高齢者まで、誰もが参加できる事業を実施する。</li> <li>・事業の実施体制や事業内容の検討を行い、地域内の各団体や学校とも連携して、振興会会員の負担の軽減と分散を図る。</li> </ul>
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校閉校で地域と教育との繋がりが薄くなっている。</li> <li>・地域と子どもたちとの交流事業（世代間交流・かたらんかなん）や、学校と連携した事業（防犯パトロール等）を実施している。</li> <li>・地域住民の生涯学習に繋がる事業（通いの場、百歳体操、宮田の歴史本作成等）を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域と学校と家庭がつながるまちづくり</li> <li>・地域と学校と家庭が連携して取り組む事業を実施する。</li> <li>・拠点施設を活用し、子どもから高齢者まで生涯にわたる“学び”の場を提供する。</li> <li>・宮田の歴史を学び、書籍として残し次世代に伝え、地域の知的財産として共有する。</li> </ul>
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が多くなってきている。</li> <li>・支援が必要な人を支える人材の高齢化が進んでいる。</li> <li>・小学校やスーパー、ガソリンスタンド等、地域の拠点となる施設が無くなり、住民の交流の場が減少している。</li> <li>・交通の便が悪く、交通弱者の移動手段の確保が課題となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○住み慣れた地域で安心して、元気に暮らせるまちづくり</li> <li>・地域のつながりを見守りの強化につながる事業を実施する。</li> <li>・拠点施設を地域住民のつどいの場として活用する。</li> </ul>

<p>【F】 生活環境 ・ 防犯防災</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回の防犯パトロールを実施している。</li> <li>・非常時の避難場所や避難路に不安がある。</li> <li>・行政区ごとに自主防災組織が結成されている。</li> <li>・ごみのポイ捨てや不法投棄が課題となっている。</li> <li>・環境美化作業を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の共助で、安心安全、快適なまちづくり</li> <li>・きれいなまちで安心安全に暮らせるよう、美化作業や防犯・防災活動を実施する。</li> <li>・非常時に迅速・的確に対応できるよう、事前の体制づくりや訓練を行う。</li> </ul>
<p>【G】 都市基盤整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で年2回の環境美化作業を実施し、道路周辺の清掃・整備に努めている。</li> <li>・一部ではあるが道路周辺に花植えを行い良好なまちなみが形成されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○暮らしやすい機能的なまちづくり</li> <li>・美化活動により良好な景観を保つ</li> </ul>
<p>【H】 総務・企画</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振興会の役割が増え、会員の負担が大きくなってきている</li> <li>・振興計画や行事等の内容の見直しを進めている。</li> <li>・地域の活動拠点施設であるコミュニティセンターが老朽化している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○魅力あるまちづくり</li> <li>・振興会活動のPRを行う。</li> <li>○実情にあったまちづくり</li> <li>・地域の実情調査を実施する。</li> <li>○施設を活用したまちづくり</li> </ul>

# 宮田地区振興計画 行動計画

## ①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期		
				R8	R9	R10	R11			
A	バザー事業	まちづくり協議会・振興会行事などで、“がねあげ”“こっばもち”など地域の特色を活かしたバザーを実施し、各イベントの集客増と、振興会自主財源の確保を目指す。	年間30万円の収益						振興会	女性部会
A	バザー用材料栽培・収穫事業	休耕地などを利用して、バザー用材料を栽培・収穫することで、安心できる素材の安定した確保を目指す。	バザーに必要な量の収穫						振興会	役員会
B	御神燈設置事業	10月に行われる「秋の例大祭」において、行列が通る道沿いに御神燈を設置し、地域の伝統文化の継承を図る。	御神燈103個以上						振興会	地域づくり部会
C	伝統文化伝承	地域の伝統文化である「獅子舞」や「棒踊り」を継承していくため、後継者や指導者の確保に必要な取り組みや支援を行う。また、伝統文化や地域資源の伝承のため、地区誌の発行を行う	「獅子舞」及び「棒踊り」の地域での年1回以上の披露						振興会	役員会
C	宮田地区夏祭り	毎年8月14日に、地域住民とお盆の帰省者との交流や地域活性の機会として、盆踊りやステージ発表、各種ゲーム、マルシェなどを行う。	来場者数300人以上						振興会	夏祭り実行委員会
C	世代間(多世代)交流事業	地域住民と子どもたちの交流の機会づくりを目的に、昔ながらの遊び体験やきもだめし大会など参加者が楽しめる会として実施する。	年3～4回実施 各回30人以上の参加						振興会	地域づくり部会
E	コミュニティセンターつどいの場づくり	図書室を「カフェ」とし、子どもたちの学習の場や地域住民の集いの場として開放する。地域住民に生涯学習の機会を提供し、自主サークル活動を促す。	「図書室カフェ」 週10人利用 「生涯学習」 9団体以上						振興会	健康福祉部会
E	ひなまつり	地域に残る雛人形を展示し、古き佳き伝統や風習を次世代へ語り繋ぐ機会として開催する。また、お雛さま会では子どもたちも楽しめるマルシェや各種ゲームも行う。	来場者数500人以上						振興会	節句実行委員会
E	端午の節句	地域に残る五月人形を展示し、古き佳き伝統や風習を次世代へ語り繋ぐ機会として開催する。また、端午の節句会では子どもたちも楽しめるマルシェや各種ゲームも行う。	来場者数400人以上						振興会	節句実行委員会
E	かたらんかなん	高齢者をはじめ、地域住民皆が学び、交流する機会を提供するため、公民館と連携して、映画鑑賞、史跡巡り、講演会や交流会を開催する。	年2回実施 各回30人以上の参加						振興会	健康福祉部会
E	宮田地区敬老会	地域住民の長寿のお祝いと高齢者への感謝を表す機会として敬老会を開催し、金婚表彰や昼食の提供、ステージ発表を行う。内容は随時検討しながら実施する。	70歳以上の高齢者を対象に150名以上の参加						振興会	健康福祉部会
F	環境美化作業	地域の美化と地域住民の美化意識の高揚を目的に環境美化作業(一日一汗運動等)を実施する。	地域の除草・ゴミ拾い(年2回) 海岸清掃(年1回) コミュニティセンター周辺美化(年3回)						振興会	自治行政部会
F	防犯・防災パトロール(仮称)	安心・安全な地域づくりや青少年の健全育成を目的に、地区防犯協会や駐在所、学校と協力して、地域のパトロールや危険個所の確認と啓発活動として実施する。	年2回実施(夏・冬) 各回15人以上の参加						振興会	自治行政部会

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期		
				R8	R9	R10	R11	5年以上		
C	宮田地区分館対抗球技大会	スポーツを通じての体力の向上と地域住民の親睦と融和を深めることを目的に球技大会を実施する。	90人以上の参加	→					振興会	体育部会
C	宮田ペアマラソン大会	3月の第3日曜日に地域の一大イベントとして開催。マルシェ等を同時開催し宮田の魅力を地区内外へアピールする	200組400人の参加	→					振興会	ペアマラソン大会実行委員会
F	防災対策事業	自主防災組織を中心とし、一斉避難訓練や要支援者の支援体制の構築、防災講話や炊き出し訓練を行い、地区の防災力向上を図る。	年1回以上の防災訓練の実施	→					各区自主防災会	自治行政部会
C	3地区連携強化事業	倉岳町の3地区で行われている同様の事業について、合同での実施に向けた協議・検討を行うことで、3地区の連携の強化や、各振興会の予算や役員の負担軽減を目指す。	随時3地区で協議・検討し、段階的に実施する。	→					3地区振興会	役員会
C	マリンスポーツ	カヤック体験を通して、豊かな自然を体感し、天草の豊かな海を守るために自らできることを参加者と共に考え学ぶ場とし、宮田えびすビーチ海岸におけるマリンスポーツの利用促進を図る。	年1回実施 10人以上の参加	→					振興会	体育部会
B	イルミネーション事業	宮田地区コミュニティセンターをライトアップやイルミネーションで華やかに彩ることにより、魅力的な夜間景観や地域の賑わいの創出など、倉岳町の冬のまちづくりを図る。	12月～1月の約1ヶ月間点灯	→					振興会	イルミネーション実行委員会

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

## 宮田地区振興計画 行動計画

### ②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期		
				R8	R9	R10	R11	5年以上		

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

